

広報



かわにし

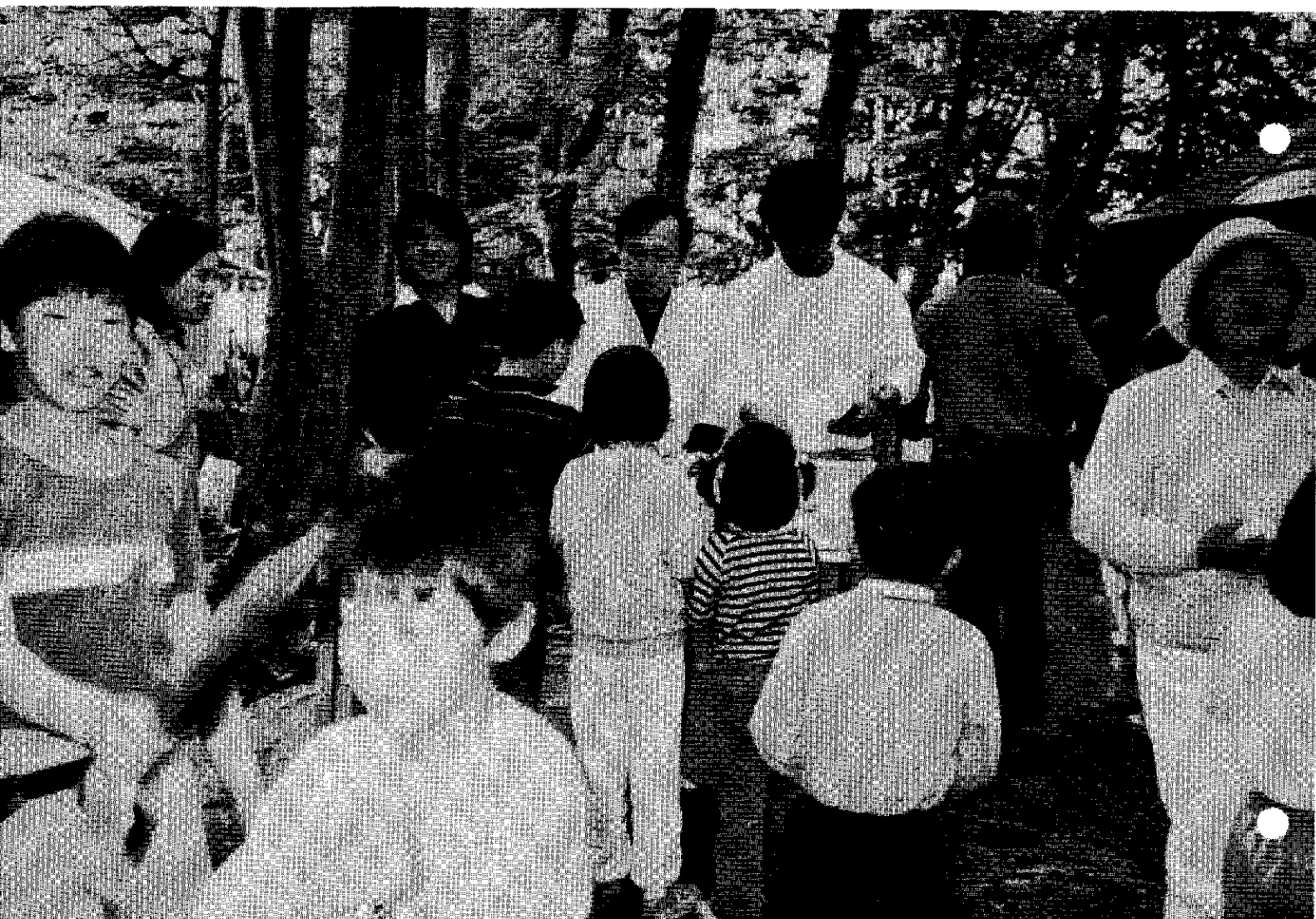
昭和61年 6/10 No.334

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き	
— 6月1日現在 —	
男	4,705 (±0)
女	4,811 (±0)
計	9,516 (±0)
世帯数	2,303 (±3)
() 前月比較	



鮮やかなブナの若葉 (二六公園ブナ林まつり)

5月24日、長福寺裏山では、17回目のブナ林まつりが行われました。

大人は地酒とともに、カラオケ大会や歌謡ショーに酔い、大勢の子供たちは宝さがしを楽しみました。

主な内容

- | | |
|-----------------|------------------|
| ▷議会報告……………〔2〕 | ▷町史の窓……………〔7〕 |
| ▷水道料金改定…………〔3〕 | ▷母子センター閉所…………〔8〕 |
| ▷生産組合アンケート……〔4〕 | ▷優勝千手スボ少野球……〔9〕 |
| ▷ブラジルから故郷へ……〔5〕 | ▷ようこそ川西町へ……〔10〕 |
| ▷『町史』の予約…………〔6〕 | ▷わしの自慢……………〔11〕 |
| | ▷戸籍の窓から……………〔12〕 |

休日救急医

- | | |
|-------|-------------|
| 6月15日 | 池田医院 (本町西) |
| 22日 | 至誠堂医院 (西浦町) |
| 29日 | 中条病院 (中条) |
| 7月6日 | 富田医院 (神明町) |
| 13日 | 大島医院 (川原町) |

議会報告

第二回町議会臨時会が、六月二日に開かれました。
税条例の一部改正など専決処分の承認事項と六十一年度一般会計補正予算などを提出し、審議の結果いずれも原案どおり承認、可決されました。

個人町民税均等割の

非課税基準引き上げ

税条例の一部改正

① 個人町民税均等割の非課税基準二十二万四千円を二十四万八千円に引き上げました。

② 個人町民税の所得控除のうち、同居の特別障害者に係る配偶者控除額及び扶養控除額三十万円を二十四万円に引き上げました。

③ 市町村たばこ消費税が、六



第2回町議会臨時会

十一年五月一日から六十二年三月三十一日までに関り、千本につき三百五十円を六百四十円に引き上げました。

就労センターの

工事請負契約を承認

六月二日入札した仙田地域就労センター（本体）建設工事が、請負金額五千五百五十万円で、井川建設（株）と請負契約を結ぶことが承認されました。

専決処分

議会で議決しなければならぬ事項を、たまたま議会を招集する暇がないようなときや、議会まで待てない緊急な事項が生じたとき、あらかじめ町長が決定し、処理することです。そして、議会が開かれたとき、改めて承認を得ることになっています。



イチゴ田舎植樹

「三〇」の人たちから三百本合併三十周年にちなんで、イチゴ田舎を三百本、上野地内（砂坂）に植樹することになり、何んでも「三〇」の数字にかかわりあいのある人たちから植えていただく予定です。

たとえば

- 結婚三十周年
- 年齢三十歳
- 住所地在三〇番地
- 自家用車登録番号（二）ケタが三〇……など

植樹を希望される方は、八月三十日までに、中込みください。申込先 役場産業課「林政係」

川西音頭

作詞審査スタート

本紙一月号で募集したところ十二点の応募作品が集まりました。

皆さんから愛唱していただく「川西音頭」、作詞の審査員を次の方にお願ひし、五月二十六日から審査に入りました。

太田長栄（中央町）
水品リツ（三二領）

記念誌

写真が語りかける

町内全戸に記念品として、無料配布する記念誌の編集作業が進められております。

心と心のかような記念誌となりますように、あなたの家にある珍しい、懐かしい写真をぜひお貸しください。

- 六月末日までに
- 役場総務課「文書広報係」へ
- 写真ウラに住所・氏名明記

タイムカプセル

夢と希望を託して

町のありさまや、願望などを次の世代に引き継ぐため、総合体育館にタイムカプセルの設置が検討されております。

八月には各戸に、夢と希望を託す一定の用紙と、封筒が配られます。その中に家族の記念すべき写真なども入れることもできますので、家族全員がそろった機会に、タイムカプセル用の写真を写したらいかがでしょう。

須藤茂一（仁田・委員長）
中条秀雄（岩瀬）
市村俊一（上野小学校）

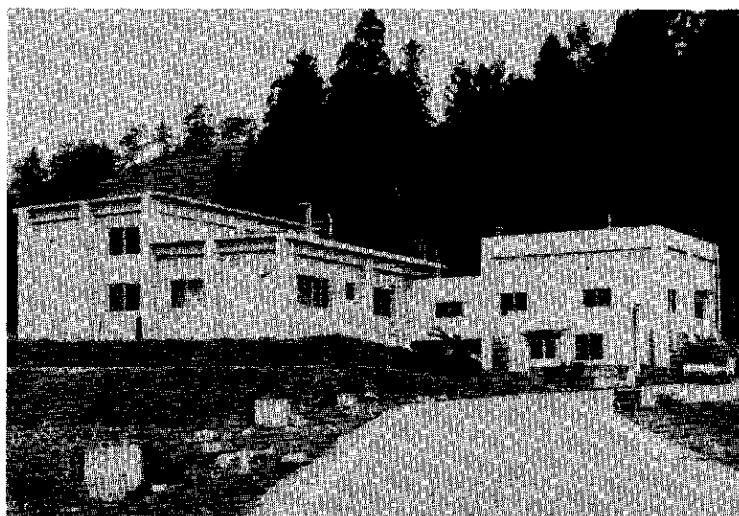


六月一日から

水道料金改定

基本料金 (10^mまで) 千五百円 ↓ 千七百円
超過料金 (1^m当り) 百三十円 ↓ 百五十円

五十六年十月以来、五年据え置いてきた水道料金を、六月一日から改定させていただきました。
日常生活に欠くことのできない大切な水を、家庭の蛇口まで順調におとどけるため、やむを得ない改定です。



千手浄水場

六十年度に浄水場から各家庭まで、パイプを通して使用していた水は、六十万六千ト(二百リットのドラムかん二百万本)、みなさんからいただいた水道料金は、七千八十万円(一人当り年間約一万円)になります。

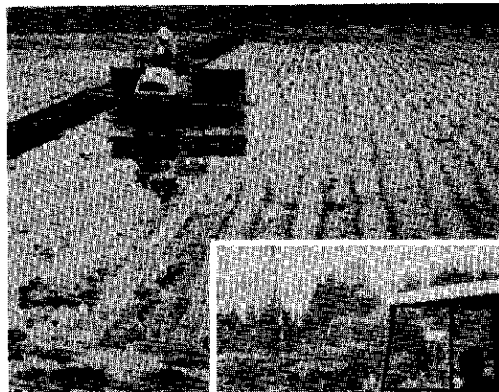
水道事業は、「経営に必要な経費は、水を供給して得た料金収入でまかなうこと」が原則とされています。ところが、水を供給するための施設の建設、改良費用や、それを管理、運営する費用が、どうしても料金収入だけでは、まかない切れないのが実状です。

六十年度は、その不足分四千八百万円(全体経費の約三八%)を町の一般会計から補充し、運営しています。

水道の安定した供給と公営企業としての健全な運営をはかるため、料金改定に深いご理解とご協力をお願いします。

料金改定の推移と水道事業の歴史

44・4	基本料金	三〇〇円	44	千手地区簡易水道施工
	超過料金	三〇円	45	～
47・4	基本料金	四〇〇円	46	中仙田地区簡易水道施工
	超過料金	四〇円	47	橘地区簡易水道施工
51・5	基本料金	六〇〇円	48	赤岩地区簡易水道施工
	超過料金	六〇円	49	川西町上水道事業創設
52・4	基本料金	八〇〇円	50	～
	超過料金	八〇円		(千手簡水に上野地区を)
53・10	基本料金	一、〇〇〇円		拡張編入
		八〇円	51	木落地区簡易水道施工
			52	室島地区簡易水道施工
			53	田戸地区簡易水道施工
			54	～
				上水道第一期拡張事業施工
			55	(千手浄水場拡張、中子)
			56	～
				(地区を給水区域編入)
			54	橘地区簡易水道拡張
				(橘二箇地区を拡張編入)
55・8	基本料金	一、二〇〇円	55	白倉地区簡易水道施工
	超過料金	一〇〇円		
56・10	基本料金	一、五〇〇円		
	超過料金	一三〇円		
61・6	基本料金	一、七〇〇円	57	上水道第二期拡張事業施工
	超過料金	一五〇円		(上水道に田戸、中仙田、
				赤岩地区を編入し上野
				浄水場から若ノ窪峠越
				しに送水管布設施工)



＝アンケート＝

生産組合オペレーターはいま、何を考える

東部地区（千手・上野・橘）

東部地区農業生産組織——その数二十七、構成員約九百五十名に達している、水稻・たばこなどの部門で組織する農業者の組合です。

町では、その生産組織の中でも水稻を主体とした十五組合のオペレーターのみなさんに、担い手として考える農業の現況や、農業の進め方などについて、アンケート調査を実施しました。（回収率約八〇％）

地域農業を担う、生産組合オペレーターはいま、何を考えているのでしょうか。

（オペレーターとは、大型農業機械の操作をする役の人）

●あなたの自身の「こと」について

●あなたの年齢は

「二十六～三十歳」 一二・五％
「三十一～四十歳」 二二・四％
「四十一～五十歳」 二五・〇％
「五十一歳以上」 四一・一％

●勤務した年数は

「一～四年」 五・四％
「五～九年」 一四・四％
「十年以上」 六九・五％
「無回答」 一〇・七％

●あと何年、オペレーターとして働かれると思いますか

「五年以内」 四一・一％
「六～十年」 一六・一％
「十年以上」 二五・〇％
「無回答」 一七・八％

●オペレーターとして、感じていることについて

＊栽培管理

「農家は整地、水管理、溝切りなど協力いただきたい」

「生産組合は、積極的な栽培指導に努めたいと思う」

七・八・六％

「個々の農家が経営者であるから、管理の強制はすべきではないと思う」

二・八・六％

一六・一％

＊土づくり

「稲わらの秋すき込みを推進したかどうか」 七・一・四％

「堆肥を投入したかどうか」 二六・八％

「流水客土をしたかどうか」 一〇・七％

●賃金（一日八時間）は、いくらが適当だと思いますか

「一万円」 四一・〇％
「八千円」 二五・〇％
「一万二千元」 一六・一％
「九千元」 一四・三％
「七千元」 三・六％

●今後の生産組合のあり方について

＊経営形態とオペレーター確保について

「通年雇用で、固定したオペレーターの確保」 四四・六％

「必要な人員だけの期間雇用」 三九・三％

「専業的農家に農地集積をし、生産活動をしてもらう」 一四・三％

＊後継者育成について

「第三セクター的企業や機械施設利用組合などで、オペレーター

の年間雇用を行い、農繁期に各生産組合に配属する」

三五・七％

「各生産組合で年間雇用（複合的仕事）を考え、安定した職場を提供する」 三三・二％

「現状のままでよい」 一三・二％

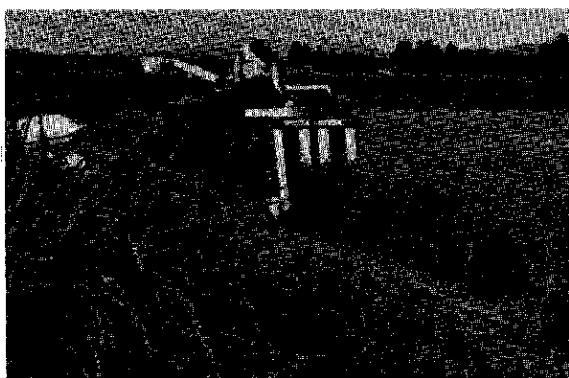
＊利用料金について

「生産組合の状況を考えると、多少アップしてもよい」 三七・五％

「現状のままでよい」 二一・四％

「長期的に収支を考慮し、極力低くおさえるべきだと思う」 一七・九％

【＊印……複数の回答事項】



ブラジル期待の留学生 藤巻康子さん故郷へ



研修を受けることになり、四月六日に来日されたものです。ブラジルには、現在八十万人の日系人が住んでいます、この国でも高齢化が進み、ほとんどのお年寄りたちは、「自分かもしれない時は日本人の医者と看護婦に診てもらいたい」という強い願望を持っています。

川西町で生まれ、昭和三十六年に四歳で父秀里（塩辛の藤巻牛乳）、母トキ（四郎兼の渡辺新聞店）さんに連れられてブラジルへ渡った藤巻康子さんが、五月の連休に二十五年ぶりで故郷の土を踏まれました。

康子さんは、ブラジルの小・中・高等学校を卒業後、名門サンカミロ看護学校に学び、サンパウロの日伯援護協会救急病院に勤務しておられました。このたび、国際協力事業団の第十六回移住者子弟家族技術者研修生の一人に選ばれ、神奈川県成人病予防センターで二年間の

研修を受けることになり、四月六日に来日されたものです。ブラジルには、現在八十万人の日系人が住んでいます、この国でも高齢化が進み、ほとんどのお年寄りたちは、「自分かもしれない時は日本人の医者と看護婦に診てもらいたい」という強い願望を持っています。

この切実な願いにこたえようと、援護協会が病院の規模を拡大し、目下、八八年の完成をめざして総合的な日本病院の建設を進めています。康子さんは、日本での研修が終わると新設の病院で看護婦の指導に当たりますが、現地の新聞は、この壮事を「ヤスコはブラジル期待の星」と大々的に報じています。

康子さんは、日本の印象を、川西町での感想を含めて次のように話してくださいました。

ブラジルを紺と黒の服装で出国しましたが、日本に着いたら若い人たちが派手なので

はずかしくなりました。

日本人はお金持ちですね。ブラジルで最低生活者といえど、じきですが、日本では社会保障が行き届き、どなたも裕福そうで中流以上の生活者に見えます。

日本人は無駄をしすぎていませんか。たとえば、女の人とはとてもきれいなのに、それ以上に化粧して素顔をかくしています。

日本には方言や敬語が多すぎます。だから会話がとてもむずかしい。金子幸作（岩瀬実弟がブラジル）さんにポルトゲース（ブラジル語）で話しかけられたときはホッとしました。ブラジルは、国がケンテ（広い）でもことばは一つです。

川西町は、集落ごとの特色がよい面であ郷心につながっているように感じます。ブラジルにはそれがなく、国民は

故郷を捨てることにこだわっていません。

塩辛の藤巻おじいさんが、「康子、来たかや」といって喜んでくださいました。四時間後に亡くなりました。最後をみとれたのは神のお恵みでした。

現地「サンパウロ紙」から
研修生の一人、藤巻さんは日

本生まれのピエターデ育ち、現在、援協救急病院勤務のベテラン看護婦、援協からは初めての研修生で八八年に完成する援協日本病院の「期待の星」。

「一所懸命、日本のすぐれた技術を習得しブラジルのお役に立ちたい。特に新しい援協病院の柱となる成人病対策について勉強したい」と抱負を語っておられた。

電気の無駄を省こう

電力の大食漢 冷蔵庫

冷蔵庫は家庭の電化製品の中でいちばん電力を使います。家庭の年間電力消費量の、なんと三〇％弱を占めているのです。そこで十分にその機能を働かせるために、必要なポイントをみてみましょう。

●周囲に十分すき間を開けて

上……二十センチ以上
横……二センチ以上
後ろ……十センチ以上

空気の流れをよくし、冷却効果をあげるためには、最低これだけのすき間が必要です。

●直射日光と火が嫌い

熱の影響で温められた分だけ、余計に電力を使います。涼しい場所に置いてください。

●詰め込みすぎに注意
庫内に食品をあまり詰め込むと、冷却効果が落ち、冷やすのに電力を使います。冷気の流れをスムーズにしてあげましょう。

●ドアの開閉は素早く
いつまでもドアを開けたまま中をのぞいていると、温かい空気が入りこみ、庫内の温度が一定になるまで、電力の消費量が増えてしまいます。ドアの開け閉めは素早く――。

お済みですか

『町史』の予約



今なら追加も可能です

二月半ばから先月末日まで、『町史』の予約募集を行います。町内・外から予想以上の注文をいただいています。

今なお問い合わせや注文がありますので、あとしばらく募集期間を延長することにしました。注文を忘れていた方など、この機会に是非どうぞ。

◎『町史』の内容と「通史編」「資料編」の区別は？

川西町の原始時代から古代・中世・近世・近・現代を順序だてて記述したものが通史編です。大昔、人々が土器や石器を用いていた時代から、村落の形成や妻有庄の発祥・町内の城に割拠した武士たち、徳川時代に入ってから農民の暮らしや生きざま、明治・大正・昭和（六十年まで）のことで、文献や史料に基づいて記述したものです。資料編は、文献や昔の書きつけ（古文書とか史料といっています）を、そのまま活字にして後世に伝えようというものです。



◎これまで発刊した『町史』「ぼれ話」との関連は？

これまで第七集まで発刊した『ぼれ話』は、『町史』に載せることが不適当なものや、スペース面から割愛せざるを得ないものなどを、その都度拾い集

めています。『町史』がでかがるまでのつなぎとして発刊を続けているもので、『ぼれ話』の集大成が『町史』ということではありません。

◎一セット一万五千円の頒布価格の設定は？

『町史』は通史編上・下巻、資料編上・下巻の四冊で一セットです。価格の設定は、印刷製本費の実費を負担していただくことを基準にしたものです。

◎発刊と代金の納入は？

資料編上・下巻を今年十月に発刊、十一月中に配本します。通史編は、来年二月に刊行の予定です。代金は、現物と引き換えをお願いします。町外の方には、編さん係から直接送付します。代金は振替を利用ください。

『町史』は予算の都合から、在庫を極力少なめにした限定出版です。

あとになると品切れも予想されます。希望される方は、今のうちに注文してください。

◎注文先

川西町伊友歴史民俗資料館内
町史編さん係
番六八―二二二八
有線 三〇九四

“ポイ捨て” 空き缶 全国で年間10億缶

毎年、全国で100億缶を超える缶入り飲料が生産され、その約1割(10億缶)が空き缶として、ポイ捨て、されているそうです。

だれかが拾わなければ
いつまでもそのまま

一度捨てられた空き缶は、だれかが拾わない限り、そのままの状態、やがては日本列島が空き缶で埋まってしまうでしょう。

- ▶飲み終わった空き缶は必ずゴミ箱に入れる
- ▶ゴミ箱がなかったら持ち帰る

衛生推進員と町職員らが 道路クリーン作戦

五十六年から始めた道路のクリーン作戦(空き缶拾い)が、五月十一日の早朝、衛生推進員安協、町職員らが出勤して行われました。

このメンバーで年二、三回実施するほか、さらにライオンズクラブなど各種団体の皆さんからそれぞれの機会に実施いただいております。

あいかわらず、たくさんの空き缶が拾い出されました。今回は一、二車で六台分ありました。運転者のマナー向上に待つほかないのです。

ポイ捨てはやめましょう。



昔もあつた嫁不足

上杉氏は織娘も連れてた

古来、越後の白布(たぐり)は有名で、関東管領の上杉氏が上洛(うく)のさいに、天皇はじめ足利將軍や公家たちに越後布を贈ったことは知られている。當時、越後布の品質が良く、名産品として珍重されたのは、たえず創意と工夫を重ねながら、ひねもす布を織り続けた越後女(えちこ)たちの努力によるものであった。

上杉氏が越後を離れると、私たちの地方で繁栄した苧麻の栽培や苧苧づくりは次第に衰退し、年が経つと、やがては米沢や会津あたりから移入しなければ良い布を織れないような事態に追い込まれてしまう。

ただかではないが、上杉氏は越後を出るときに、苧麻栽培や苧苧の製法をはじめ、越後布の織れる女たちのほとんどを連れて行ったという。そればかりか

町史の窓

嫁取りは嫁盗り

慶長三年(一五九八)に、越後から会津若松(一一〇万石)(転封(てんぽう)された上杉景勝は、同五年の関ヶ原合戦に敗れると出羽の米沢(三〇万石)に移されたが、節黒城主の上野源六家成もこのころ米沢に移っている。

自然の妙とでもいうのか、男と女の出生率はおおむね均衡のとれているのが普通である。ところが、某村における元禄五年(一六九二)の男女の年齢別構成をみると、〇歳から一六歳までは各年齢層とも女が男の七〇%でしかない。それが結婚適齢

期の一七歳から二〇歳に入るとほぼ同数になり、どこからか、歳ごろの娘を嫁に取って来ていることがわかる。

この時代の人たちは「オンナッコは、イチチョウウメになると嫁にくれるのだから無理して育てる必要はない。ゴテが鍋(ナベ)の蓋(フタ)を隠す歳になったら適齢期の娘をよそからもらってくればよい。それがダメなら盗ってくるまでだ」。と考えていたフシがある。娘を盗られた家の親たちは、またどこからか見付けてつじつまを合せ、この

川西女が白河起す

寛保元年(一七四二)に、高田城主から白河城(転封された松平定賢(さだかた)は陸奥(むつ)上総(かずさ)安房(あへ)越後の四国を領したが、なかでも越後領は最大で刈羽・三島の両郡は再領、魚沼・蒲原・岩船の三郡は新領であった。

上村政基氏(上野)は、「白河に入城した松平氏が、藩の繁栄を願って越後領地から多くの娘たちを白河に移し、全員を同地に縁付かせて白河辺一帯の人口を増加させた」と指摘される。白河市(福島県)の俚謡(りよう)に、「越後女は白河起す。これも御殿のおたまもの」と歌われているのは、川西町でも山野田、東善寺、水口沢、中屋敷、高原田、坪山、鶴吉、霜条、伊勢平治、上野、祖師、下平新田、木落の村々から器量よしで稼ぎ手の娘たちが白河に嫁ぎ、修身斎家(せいいか)を説く藩公に従った可能性を裏付ける。

スキガタリと傭女(ような)

近代(一八六八―一九四五)に入るとスキガタリ(恋愛結婚)が目立つ。縁遠くて、八方に手をつくしても配偶者に恵まれない家のアニは、江戸稼ぎ中にアタックして相手を見付け、春先に連れて帰って「オレの力カだ」と誇らしく紹介した。

明治のはじめ、本郷の大きな俵(たる)るま屋へ奉公した仙田の権蔵は、その家のネンコサを口説き落して夫婦になり、こぶしの花の咲くころに故郷へ錦を飾った。深川でそば屋の出前をしていた助作は、得意先の置屋で売れっ子の芸者と懇ろになり、このカップルも暗れてお国入りして村の衆を「アッ」といわせた。

金子芳英氏(岩瀬)によると、ウデが悪くてどうしても相手を見付けることのできなかつたアニどもは、稼いだ金で傭女を雇って連れて帰り、「オレも見つけて来たぜ」と吹聴して面目をほどこした。

傭女は、女にうといが世間体にこだわる独身者を相手に稼ぐ商売女で、夜鷹(よたか)や女郎衆よりはランクが上の才女たちによってひそかに営まれた。現在でいう契約結婚に相当し、翔(と)べない男たちの頼みに応じて一定の期間だけ妻になりすまし、親兄弟や親類衆の前をあたかも嫁であるように装い、約束の期間が過ぎると、そつと姿を消す筋書になっていた。

傭女であったことを知らなかつた村の衆は、「気の毒に、あの衆は嫁に逃げられたテヤ」とうわさしたが、それでもアニは、一度は力を見付けて来た実績で既婚者の仲間に入り、そのウデを見なおされて一目おかれることに満足した。

アニや家族から大事にされて情が移り、本物の夫婦になった傭女も例外ではなかつたようである。

母子健康センター利用状況

年度	出生数	利用者数	利用率(%)
41	130	114	87.69
42	195	148	75.90
43	172	150	87.21
44	172	133	77.33
45	156	114	73.08
46	156	113	72.44
47	141	130	92.20
48	146	126	86.30
49	155	114	73.55
50	140	90	64.29
51	149	88	59.06
52	153	79	51.63
53	113	53	46.90
54	141	55	39.01
55	110	43	39.09
56	98	41	41.84
57	118	27	22.88
58	94	21	22.34
59	110	16	14.55
60	77	9	11.69
合計	2,726	1,664	61.04



長い間ご苦労さまでした

それが、五十年ごろから急激に利用者が減少傾向を示すようになり、建物も二十年を経た今

日、雪の被害などによる老朽化が著しく、危険な状態にさえな

開所当時は、出産する人のうち、八七・六九%の人が母子健康センターを利用し、町外からの利用者も多く、盛況を誇っていました。

母子健康センターの建築は、国や県の補助金などにより、四十年九月に着工し、その年の十二月末完成。翌四十一年一月十一日に開所しました。

母子健康センターの建築は、国や県の補助金などにより、四十年九月に着工し、その年の十二月末完成。翌四十一年一月十一日に開所しました。

決まった母子健康センターが、六月いっぱい閉所することになりました。

わす予定で、七月下旬に取りこまわす予定です。その跡地には、母子の健康教育や検診事業などは、その施設でおこなわれる計画です。

母子健康センターで、生まれた赤ちゃんは、千六百六十四名、最初に出産した赤ちゃんも今年

は二十歳、長い間ご苦労さまでした助産婦さんや、いろいろとお手伝いいただいた方に、感謝いたします。

ねん

老齢基礎年金！

誰でも月五万円もらう

ことができるか？

老齢基礎年金の額は、六十万円（月額五万円・昭和五十九年度価格）です。

この月額五万円とは、二十歳から六十歳に達するまでの四十年間の国民年金の被保険者期間のすべてについて、保険料を納付した場合に支給されるものです。

保険料を納付した期間が四十年に不足する場合、その不足する期間に応じて、五万円からの減額が行われます。この場合、

保険料免除期間は、保険料納付済期間の三分の一として取り扱われますが、保険料を納めていない期間については、当然のことながら計算の対象になりません。この場合の計算式は①のとおりです。

老齢基礎年金は、改正法施行日（四月一日）において六十歳未満の人に対して支給され、六十歳以上のの人については、改正前の制度が適用

改正前の制度が適用

① $600,000円 \times \frac{(\text{保険料納付済月数}) + (\text{保険料免除月数})}{480月}$

② $600,000円 \times \frac{(\text{保険料納付済月数}) + (\text{保険料免除月数})}{(\text{加入可能年数}) \times 12}$

入しても、四十年の保険料納付済期間を満たすことができま

生年月日	加入可能年数
大正15・4・2～昭和2・4・1	25
昭和2・4・2～昭和3・4・1	26
昭和3・4・2～昭和4・4・1	27
昭和4・4・2～昭和5・4・1	28
昭和5・4・2～昭和6・4・1	29
昭和6・4・2～昭和7・4・1	30
昭和7・4・2～昭和8・4・1	31
昭和8・4・2～昭和9・4・1	32
昭和9・4・2～昭和10・4・1	33
昭和10・4・2～昭和11・4・1	34
昭和11・4・2～昭和12・4・1	35
昭和12・4・2～昭和13・4・1	36
昭和13・4・2～昭和14・4・1	37
昭和14・4・2～昭和15・4・1	38
昭和15・4・2～昭和16・4・1	39
昭和16・4・2～	40

※ 加入可能年数は、36・4・1以後60歳までの年数



月額5万円



納付期間40年に不足期間に応じて減額

(注)

具体的には、受給者の生年月日ごとに次の表の加入可能年数について、すべて保険料を納付した場合に月額五万円となり、保険料納付済期間がこれに不足する場合は、不足期間に応じて減額され、その計算式は②のとおりとなります。

きん

ふくし

第8回春季少年野球大会

千手スポーツ団が優勝

第八回春季少年野球大会（十日町駅通り商店街振興組合主催）が五月三・四日の二日間信濃川河川敷グラウンドで開かれ、千手スポーツ少年団チームが優勝しました。

十日町、川西から二十四チームが参加、春初めての大会に熱戦がくりひろげられました。

【決勝戦】

千手スポーツ少年団	25312
山本チーム	3
本	00030
山	3

毎回得点の猛打と柳投手の力投で13-3の大差で山本チームを下しました。

川西チームの優勝は、一昨年に続いて二回目。

決勝戦は、千手-山本チームの間で争われ、千手が全員安打、

はいけい ふるさとさん

雪にしいたげられて咲く花に 越後人を見る思い

綾瀬市 大野 良 子さん

（中仙田出身）

八年の歳月が流れました。五十五年春、両親の墓参りをしたときに大切に持ち帰ったカゴ花（シヨウジョウバカマ）が四年経った五十九年から咲き始めました。かわいいピンク色の花です。

持って来て日のよく当る場所に植えたのですが、なかなか花芽がつかず草丈ばかり伸び、がっかりしていたのです。どうしてかという考えましたあげく、翌春北向きの日かげの場所へ移植しました。

たまたまその年は、関東にも大雪があり、度々降ったのです。そのせいか春になって立派に花を咲かせてくれました。

あのかわいいピンクの花です。ほんとうにうれしくなりました。雪の下でしいたげられてはじめて咲く花の強さを知りました。越後の人間そのものというところでしょうか。

花が咲きはじめて三年目の春が訪れます。先日降った雪のおかげで今年も又花を咲かせてくれることでしょう。

その日の来るのをたのしみに待っています。

遠く神奈川の地から皆々様のご健康と川西町のご発展を心からお祈りいたします。



いつも「広報かわにし」をお送りいただきありがとうございます。なつかしい故里の移り変わりをたのしみに拝見させていただきます。

私も故里を出てから早や三十

冬期間基礎練習の 成果実る

雪のためグラウンドに出たのは、この大会が初めてだったが、冬期間スポーツ少年団として土・日に総合体育館で基礎練習をしたうえ、国鉄駐車場を借りてバッティング練習をした成果が実りました、と高橋幸司監督は話していました。



優勝旗を手に千手チーム

町のスポーツ活動

柔道スポーツ少年団 毎週月・木曜

剣道スポーツ少年団 毎週日曜

卓球スポーツ少年団 毎週日曜

野球スポーツ少年団

千手、上野、橘、仙田各地区ごとに活動



優勝を決めさやかに挨拶する千手ナイン

【決勝戦の記録】

千手スポーツ少年団	打点	四球	安打	打数
〈遊〉田村 有 二	1	1	1	3
〈捕〉山岸 智 和	3	0	2	4
〈三〉高 橋 修	3	0	3	4
〈投〉柳 浩 次	2	0	1	4
〈一〉小林 正 樹	0	0	1	3
〈二〉高 橋 貴 之	1	0	2	3
〈中〉平野 恵 津 夫	0	0	1	3
〈右〉数 藤 達 也	1	0	2	3
〈左〉小林 憲 一	1	0	1	3
振球犠残	12	1	14	30
7 1 0 3				
▷本塁打	山岸、高橋(修)、高橋(貴)			

7月1日 事業所統計調査

この調査は、経済活動や社会活動の拠点である事業所を漏れなく調査する、国の最も基本的な統計調査の一つです。

7月上旬から調査員が各事業所を訪問して、調査票の記入をお願いしますので、調査にご協力ください。

事業所＝人が賃金や報酬を得て働いている場所のこと
で、店舗や営業所、工場、官公庁のほか神社、寺院なども含まれます。

担当する調査員

千手地区 南雲 虎一
大井 佐市
星名 洋子
上野地区 南雲 隆三
星名 睦
橋 地区 滋野 定良
戸田 美枝子
仙田地区 小林 政夫



＝ふれあいパックの会＝ 会 員 募 集



パンフレット用の撮影風景



特産品、民芸品や、ふるさとの味覚の直送や、夏・冬の体験イベントなどがあります。

会費 / 年 15,000円

入会金 / 年 3,000円

(3年有効)

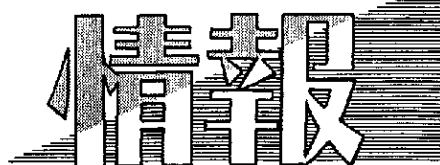
★照会先 〒948-01

役場内「ふれあいパックの会」

田舎といい仲、

ふれあいパック

ガイド



行政相談

6月25日……総合センター

毎月最終水曜日(午後1～3時)
総合センターで行います。
相談員は富井源蔵さんです。

停電のお知らせ

- 7月4日(金) 午前8時から正午まで、星名新田、田代の全部
- 7月4日(金) 午後1時30分から午後5時まで、中仙田の一部と田戸、越ヶ沢の全部



敏男さんは百十点

岩手県から

仁田

小幡 美代さん

めぐりあいはい

岩手県陸前高田市の生まれで東京の銀行に勤めていた時、サークル活動で、料理の修業をしていた主人と出会いました。リーダーシップを発揮し、グイグイと引っ張る行動力と、やさしさに惚れました。

川西町に住んでの感想は

九三年過ぎましたが、雪はそれほど苦になりません。おどろいたのは、田んぼが区画整理されており機械化されていることです。農作業も変わりました。都会にくらべ、こちらの方が子育てや生活がゆったりしていて最適です。七月には第二子の出産予定です。



「主人は何点ですか？」
「即座に、敏男さんは百十点と答えてくれた、ご主人思いの美代さんでした。」

「嫁いだ時は、昼間若い人が少なくてさみしいと思いましたが、両親や近所の方が親切にしてくれるし、若妻会などの集まりを楽しみにしています。」

②



次の善意が寄せられました。

◆一般寄付金

●広報発行の一助に

- * 星名定三さん (東京・港区) から、二万円
- * 大熊タツ子さん (東京・江東区) から、一万円
- * 押木敏子さん (東京・三鷹市) から、五千円
- * 高岩ハルさん (栃木市) から、一万円
- * 水落克さん (川崎市) から、一万円
- 社会福祉協議会へ
 - * 今藤清さん (上野) から、五万円
 - * 藤巻孝吉さん (塩辛) から、五万円
 - * 清水雄さん (下平新田) から、五万円
 - * 丸山益平さん (中央町) から、三万円
 - * 皇居御奉仕参加者同志会 (代表田村才一郎) から、八千二百八十五円

民俗資料

- ・ 小林政雄さん (中仙田) から、膳碗多数、アノカほか
- ・ 小林幹司さん (中仙田) から、九尺ムシロ、子供ソリほか
- ・ 小林寿子さん (中仙田) から、膳多数、鉄ピンほか
- ・ 茂野耕作さん (伊友) から、旧仙田小学校の鐘
- ・ 黒嶋ミカさん (伊友) から、五玉ソロバン、ソバ切り包丁
- ・ 内山潔さん (上野) から、倭節用集 (文政年間辞書)
- ・ 富井勇さん (上野) から、三本グワほか
- ・ 村山米一さん (高原田) から、トビロ、スカリ、拍子木
- ・ 高崎正弘さん (学校町) から、子供用ソリ
- ・ 樋口弘之さん (中仙田) から、風呂のくみ桶
- ・ 星名チユさん (伊友) から、アイロン、カン徳利ほか
- ・ 水品忠雄さん (三領) から、ベニ、オカゴ (乗用) ほか
- ・ 高橋健さん (中仙田) から、箱膳
- ・ 水品良二さん (中島町) から、小型トミ
- ・ 佐藤春枝さん (仁田) から、ぶどう徳利ほか

わしの自慢

六千株の

ゼンマイ畑

赤谷 高橋孝平さん

畑一面にニヨキニヨキと生えたゼンマイ。山野に自生しているものと同じゼンマイなのに、こうして畑のうねに真すぐに植え育てられたゼンマイは、ほんとうに見事なものです。

「ゼンマイを植えるはじめたのは、五十六年六月からで、いま一反歩(十坪)に六千株ほどあります。畑作はなんでも手間がかかりますが、特にゼンマイは収穫する時期が田んぼ仕事と重なって大変です。これだけの株を植えるに三年かかりました。」
 どのようにして株を堀ってくるのかおうかがいしたら――
 「自分の山から大株なものを根を傷めないように、浅く、広く土を付けて掘ってくることです。」

十株掘ると二坪(約六平方)

から辞去しました。

余談になりますが、さる母親が横浜に住む息子夫婦にゼンマイを送ったところ、都会育ちのヨメさんが、まさか珍しいふるさと食品とも知らずに、そのまま捨ててしまったそうです。

どこの家庭でも大なり小なり「ふるさとの味」とばかりに土産物などに珍重しています。

せっかく高価なゼンマイが、捨てられないために、町なり農協なりが主体となって専用の入れ物を作り、食べ方の説明書を加えたりして、各人が利用できるようにしたらどうでしょう。

川西の特産品としてその名声が高まってくるとも知れません。



一面のゼンマイに囲まれた高橋さん

肝臓のはたらき

肝臓は昔から「肝腎(じん)かなめ」といわれたように腎臓と並んで、たいへん重要な臓器で消化器の一つです。

脳に次いで大きく二〇〇〜二二〇〇gぐらいの重さがあります。右上腹部にあり大部分は肋骨(ろっこ)にかくれていますが、病気で腫(は)れると手でさわるだけでわかります。

肝臓の働きは一言でいうと、体の化学工場ということが出来ます。動脈や静脈のほかに胃や腸で消化吸収された栄養素を運ぶ門脈という血管が入っており、腸で吸収された栄養素を分解、合成、貯蔵し、また、体の成分やエネルギー源にして各臓器や組織に送り出しています。

この作用を専門的には、代謝作用といいますが、この主役は肝臓です。

解毒作用

体の中に入った毒物を分解し、体に害のないものにして体の外に排泄(はいせつ)します。多量にとりすぎて肝臓の能力、時間等が間に合わないときは急性中毒を起し直接生命に関わるこ

ともあります。

代表的なものに急性、慢性のアルコール中毒、農薬、シンナー等の中毒があります。

血液の再生作用

腎臓で再利用できる血液成分と、不利用物(尿成分)に分けられた血液成分を、肝臓でもう一度再成し立派な血液として利用させる働きもします。

消化作用

黄色い胆汁(たんじゅう)は肝臓でつくられる消化液の一つで胆管を通して十二指腸へ出て、主として脂肪を消化する働きをしています。

肝臓病は黄色い胆汁が血液の中に増加し、皮膚や眼の白い部分が黄色くなる黄疸(おうだん)のように特定の症状もありますが、自覚症状がほとんどなく知らないうちに悪化してしまいます。

早期発見は、血液検査以外にありません。今年から一部地域で住民検診のときに肝機能検査を実施します。

こぞ検診を受け肝臓を大事にしましょう。



戸籍の窓から

昇天——ごめい福を祈る

うぶ声——おすこやかに

たかさこ——円満に

茂野 作治 室島 六七
姜 大元 中島町 六九
数藤 トイ 沖立 七〇
米山 正藏 室島 七三
押木重太郎 元町 七五
清水富二郎 下平新田 七七
齋木 トヤ 木島 七七
数藤 サダ 沖立 八〇
数藤奥治郎 沖立 八七
藤巻 藤松 塩辛 八七
戸田 ハル 仁田 八八

金子 大輔 勇 長男 上野
上村 祐太 保弘 長男 上野
増田 和起 裕一 二男 室島
山田 貴顕 健一 二男 仁田
山田 智美 健一 長女 仁田
高橋 裕子 良一 長女 赤谷
上村 恭子 修一 長女 上野
登坂 裕子 浩 長女 岩瀬
和久井 喬 明 二男 木落
保坂ゆかり 達憲 長女 木落
羽鳥 恵 菊雄 長女 中屋敷
栖澤 雄一 幸弘 長男 沖立

青木 翔太 英明 長男 田戸
栖澤菜美江 廣 二女 沖立

◎新郎 大久保重保 野口
◎新婦 押木 国美 元町から

かわにし 俳壇



太田白南風選

三領 高橋たかし

ぜんまいを揉むや小庭大庭

田も畑も植えて一息萱蒲風呂

軒草蒲村一軒の曲り屋根

名札まで書いて貰うて菊根分

野口 野沢 寅生

休耕の続きし峡田谷若葉

青桐の大きく屋根を越えにけり

上の湯も中湯賑い谷若葉
銅葺の山門けむる若葉雨
三領 水品 律

八海の馬耕雪形見て田搔き

満開の緋牡丹に傘さしてあり

砂床の湿り程長し菊芽さす

中仙田 左 木 人

新しき萱笠かむる薄暑かな

頭より大きく開け燕の子

室島 米山 十一

音もなき笠のしめりや春の雨

ゆったりと湯に浸り聞く初蛙

心配ごと相談

- 6月18日………克雪センター
 - 6月25日………総合センター
 - 7月2日………公民館上野分館
 - 7月9日………公民館橋分館
- ※時間は午後一時から二時まで

5月の交通事故発生件数

件数	死者	傷者	比較
4	(1)	11	(6)
4	(3)	15	(9)
0	(0)	0	(0)
0	(0)	0	(3)
0	(6)	0	(10)

()内は前年比較

- ◎新郎 平野 仁司 中島町
- ◎新婦 馬場 雅美 十日町市から
- ◎新郎 押木美代治 元町
- ◎新婦 押木 靖江 元町から
- ◎新郎 廣田 敏之 沖立
- ◎新婦 廣田 薫 沖立から
- ◎新郎 高橋 政史 高倉
- ◎新婦 新妻喜代子 東京都から
- ◎新郎 高橋 俊一 上町
- ◎新婦 中町 文代 十日町市から
- ◎新郎 高橋 弘幸 坪山
- ◎新婦 橋本 敏子 十日町市から
- ◎新郎 中村 亨 坪山
- ◎新婦 藤本しず江 長野県から
- ◎新郎 村山 一男 高原田
- ◎新婦 渡邊 敏子 鶴吉から